

開催日時及び場所

日時：令和6年8月27日(火) 午後2時00分開始、3時00分終了

場所：市民交流館・カメラホール 多目的ホールA B

○大船渡市長 瀧 上 清

○委員出席者（16名中12名）

- ・会長 猪股 岩夫（大船渡市農業協同組合 代表理事組合長）
- ・副会長 熊谷 玲子（大船渡市農業委員会 会長）
- ・小向 浩人（岩手県農業共済組合 理事）
- ・藤澤 義和（東北農政局岩手県拠点地方参事官室 総括農政推進官）
- ・長谷川和弘（岩手県沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター 所長）
- ・伊藤 一成（岩手県沿岸広域振興局大船渡農業改良普及センター 所長）
- ・小野 悟（岩手県立大船渡東高等学校 教諭）
- ・「農業者代表」・佐藤 紀子 ・朴澤美代子 ・廣澤 栄子 ・及川 建則  
・菊地 久寿

○委員欠席者（4名）

- ・「農業者代表」・伊藤 裕司 ・細谷 知成 ・村上ヨシ子 ・佐々木陸子

○事務局（6名）

- ・山田 宏基（農林水産部長）
- ・佐藤 雅基（農林水産部農林課長）
- ・森 崇（農林水産部農林課長補佐）
- ・今野 勝則（農林水産部農林課主幹）
- ・鈴木 英行（農林水産部農林課農政係長）
- ・吉田 健人（農林水産部農林課農政係主事）

**1 開会**

佐藤農林課長の司会により開会。はじめに佐藤農林課長が委員及び事務局員を紹介し、その後、会議の成立を報告した。（委員16名中、12名の出席）

**2 市長あいさつ**

令和6年度 第1回大船渡市農業振興対策協議会の開催に当たり、一言あいさつ申し上げます。

本日は、御多用の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃から当市の農業行政をはじめ、市政の各般にわたり格別の御理解、御協力をいただいておりますことに、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

さて、近年の農業を取り巻く状況としましては、高齢化や人口減少の本格化による農業者の減少や耕作放棄地の拡大、野生鳥獣による農業被害などの問題に加え、農業資材や飼料、肥料の価格高騰など、従前にも増して厳しい状況となっております。

この状況を解決するため、国では、担い手の育成・確保や、農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を進めるとともに、農業経営の底上げにつながる対策を講じ、幅広く生産基盤の強化を図ることとしております。

市におきましても、令和3年度に策定した「第7次大船渡市農業振興基本計画」に基づき、諸課題の解決を目指すとともに、農業経営の安定や、担い手確保等に資する施策の展開を進めているところであります。

本日の協議会は、第7次基本計画の取組状況について、御協議いただくこととしておりますので、委員の皆様におかれましては、忌憚のない御意見をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

結びに、委員各位のますますの御活躍と御健勝を心より祈念申し上げ、協議会開催に当たってのあいさつといたします。

～ 市長退席 ～

### 3 協議

猪股会長が議長を務めた。

(1) 第7次大船渡市農業振興基本計画の取組状況について

鈴木農政係長が資料を説明し、協議後、原案のとおり承認された。質疑等については後述のとおり。

#### 【P2】

(小向委員)

農業用施設維持補修事業において、ため池や農業用水路等の補修が10件とあり、きめ細やかに対応していると感じた。農業用施設の維持補修であれば、多面的機能支払制度の施設の長寿命化の分野を活用するとよい。

⇒ (鈴木係長)

多面的機能支払制度の長寿命化の分野に係る制度内容を再度確認し、活用できるものについては、活用していきたい。多面的機能支払制度の認定範囲以外の維持補修については、市一般会計予算の範囲内で、優先順位を決めて行っていきたい。

#### 【P3】

(猪股会長)

多面的機能支払制度は1ha当たり52,631円、中山間地域等直接支払制度は1ha当たり163,445円となっている。中山間地域等直接支払制度は、来年度から第6期となり、更新の時期なので、どんどん制度を利用していただきたい。

#### 【P4】

(猪股会長)

令和7年度に当市で全国椿サミット大船渡大会が開催されるので、開催に向けたPRをよろしくお願いしたい。

#### 【P5】

(猪股会長)

農協では、マイヤ等市内小売店の産直コーナーを活用し、市内産農産物の販売促進や消費拡大に取り組んでいる。地産地消の推進に係る実績として掲載していただきたい。

⇒ (鈴木係長)

産直コーナーを活用した取組について、農協から情報収集して、内容を確認する。来年度以降、実績として掲載するようにしたい。

#### 【P6】

(長谷川委員)

大船渡市はブロイラーが盛んであることから、鳥インフルエンザが発生すると地域経済に大きな影響を及ぼす。昨年度、大船渡市で死んだカラスから鳥インフルエンザが検出された。これから、鳥インフルエンザが流行る時期になるので、野鳥が死亡した事例があれば、県に連絡いただきたい。

(朴澤委員)

福祉の里センター付近に出没したクマは殺したのか。農林課の職員に対応いただき、花火

で追い払いしていただいたが、クマに柿を食べられる被害が多くあった。

⇒ (佐藤課長)

猟友会の方が立根町のケーズデンキ付近に出没したクマを山の方へ追い詰めて、山でクマを殺した。その後、福祉の里センター付近でクマが出没しなくなったことから、おそらく山で殺したクマが福祉の里センター付近に出没していたクマであると考えている。また、クマを見かけたら、農林課に連絡をいただきたい。花火での追い払いや罠を設置するなど、クマによる被害が出ないように対応したい。

(猪股会長)

私の地域ではイノシシの被害が拡大している。宮崎県ではサルの捕獲、秋田県ではクマの捕獲に力を入れている。当市においても、鳥獣被害対策の将来ビジョンを定めて、取り組んでいただきたい。

(小向委員)

岩手県内の令和5年度のシカ捕獲頭数が過去最大となっている。大船渡市は令和4年度1,456頭、令和5年度1,344頭、令和6年度1,165頭と減少しているのはなぜか。

⇒ (佐藤課長)

令和6年度の1,165頭は当初計画の数字であり、今後、県の広域捕獲事業の実施分も加算され、実績が増えていくと考えている。

(伊藤委員)

鳥獣の捕獲頭数に加えて、鳥獣ごとの被害額も示していただきたい。

## 【P7】

(朴澤委員)

大船渡東高校で「卒業したら農業をします」という生徒さんはいるか。

⇒ (小野委員)

家が農家という生徒は少ないので、卒業後すぐに就農する生徒はいない。農業大学等で農業に係る知識や技術を学び、その後、就農するといった生徒はいる。

(伊藤委員)

女性農業者向けの研修会の内容について、市で参加対象となる女性農業者のニーズを把握していたら教えていただきたい。

⇒ (鈴木係長)

現時点では、女性農業者のニーズは把握していない。市が開催する地域での座談会や会議等の場で女性農業者から情報収集し、情報共有したい。

## 4 その他

特になし

## 5 閉会

佐藤農林課長が閉会を宣言した。